

令和4年度

# 文京区青少年健全育成活動の記録

令和5年8月

文京区



## はじめに

次代を担う子どもたちの健やかな成長は、私たちすべての大人の願いであり、また、いきいきと光り輝くその姿は、明るく活気あふれる「まち」を創る大きな原動力となります。

区では、平成22年6月に策定した基本構想の実現に向け、3期にわたる基本構想実施計画に示した計画事業等を着実に実施し、区民等との協働・協治の下、様々な行政課題解決に取り組んでまいりました。それにより、人口23万人を超えるまでに回復するなど、「選ばれる自治体」として発展を続けてまいりました。

一方、ライフスタイルの多様化やICTの進展、人口減少社会の到来等、社会環境の変化は著しく、様々な社会的要因による行政需要の変化に対し、自治体の応用力が求められております。先を見通すことが難しい「変化の時代」において、将来にわたり持続可能で豊かな地域社会を構築していくためには、これまで以上に、迅速かつ柔軟な区政課題を解決していくことが不可欠であると考えております。

このような状況の中、基本構想が計画期間であるおおむね10年を迎えることから、新たな行政計画として、「文の京」総合戦略を策定し、令和2年度から取り組みがスタートしました。

しかしながら、令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、イベント開催を延期・中止、縮小するなど、通常どおりの日常を行うことができない日々が続きました。令和4年度は、コロナ禍前のような活動ではないものの、感染防止と社会経済活動を両立させる新たな日常の活動が再開し、イベント等も一部再始動いたしました。

令和5年度は、さらに活発な活動を行い、子どもたちの自主性・社会性を育むため、従来の“参加”から“参画”へステップアップし、地域における青少年健全育成活動の中心的役割を担う「文京区青少年健全育成会」の益々の活躍を願っております。

最後に、この冊子は令和4年度の青少年健全育成活動と非行防止活動をまとめたものです。作成にご協力いただきました団体の皆様に感謝申し上げますとともに、今後の活動の参考資料としてご活用いただければ幸いです。

令和5年8月

文 京 区

# 目 次

## 文京区青少年問題協議会

1 概要	1
2 組織	1
3 議事	3
4 あいさつ・声かけ運動	4
5 ITメディアに関する情報提供用リーフレットの配布	4

## 文京区青少年健全育成会活動

1 概要	5
2 各地区の活動内容	6
3 合同事業	
(1) 文京区青少年健全育成会九地区合同行事「文の京こどもまつり」	11
(2) 機関誌『やんぐ』	13
4 委員研修会	13

## 文京区青少年プラザ（愛称b-l a b）

1 設置目的	14
2 設置概要	14
3 利用実績	15
(1) 運營業務委託事業者	15
(2) 利用実績	15
4 事業概要	16
(1) 中高生スタッフ	16
(2) 実施事業	16
(3) 広報活動	17
5 出張 b-lab	17

## 文京区版ひきこもり総合対策

### 文京区ひきこもり支援センター

1 文京区ひきこもり支援ネットワーク	18
--------------------	----

### STEP（ひきこもり等自立支援事業）

1 事業内容	
(1) ひきこもり相談	18
(2) 講演会・個別相談会	19
(3) 茶話会	19
(4) ステップUPプログラム	19
(5) フリースペース	20
(6) 定着化サポート	20
(7) 運營業務委託業者	20

## 健全育成活動・非行防止活動

1	文京区社会を明るくする運動	
	(1) 運動の趣旨	21
	(2) 活動内容	22
2	環境浄化推進活動	
	(1) 子ども110番	31
	(2) 不健全図書類販売状況調査	32
3	文京区「家庭の日」啓発	34
4	文京区青少年の社会参加推進事業補助金	35

## 青少年対策推進関係機関連絡会

1	趣旨	36
2	構成	36
3	議事	36

## ▶文京区青少年問題協議会

### 1 概要

文京区青少年問題協議会（以下「協議会」という。）は「地方青少年問題協議会法」（注）に基づき、昭和31年に制定された「文京区青少年問題協議会条例」により、区長の附属機関として設けられました。

協議会は、青少年の健全育成施策推進のため、関係行政機関と地域活動団体、さらに団体相互の連絡調整を行うことを所掌事務としています。また、青少年問題に関する見解や対策を提案するとともに、自らも「重点行動」を定めて実施するなどの活動を行っています。

（注）旧「青少年問題審議会及び地方青少年問題協議会設置法」 昭和28年7月25日公布、平成11年法令名改正

### 2 組織

協議会は区長を会長とし、区長から委嘱または任命された45名以内の委員によって構成されています。（表参照）

また、協議会の効率的な運営を図るため、必要事項の調査研究を行う幹事会を設置するとともに、必要に応じて現状の問題点や緊急課題について調査研究を行う部会を設けています。

（表）青少年問題協議会構成

会長	区長
区議会議員	8名
学識経験者	25名 選出団体は下表のとおり
関係行政機関職員	7名 区内警察署長・警視庁巣鴨少年センター所長 区立小学校長会代表・区立中学校長会代表
区職員	2名 教育委員会教育長・教育推進部長

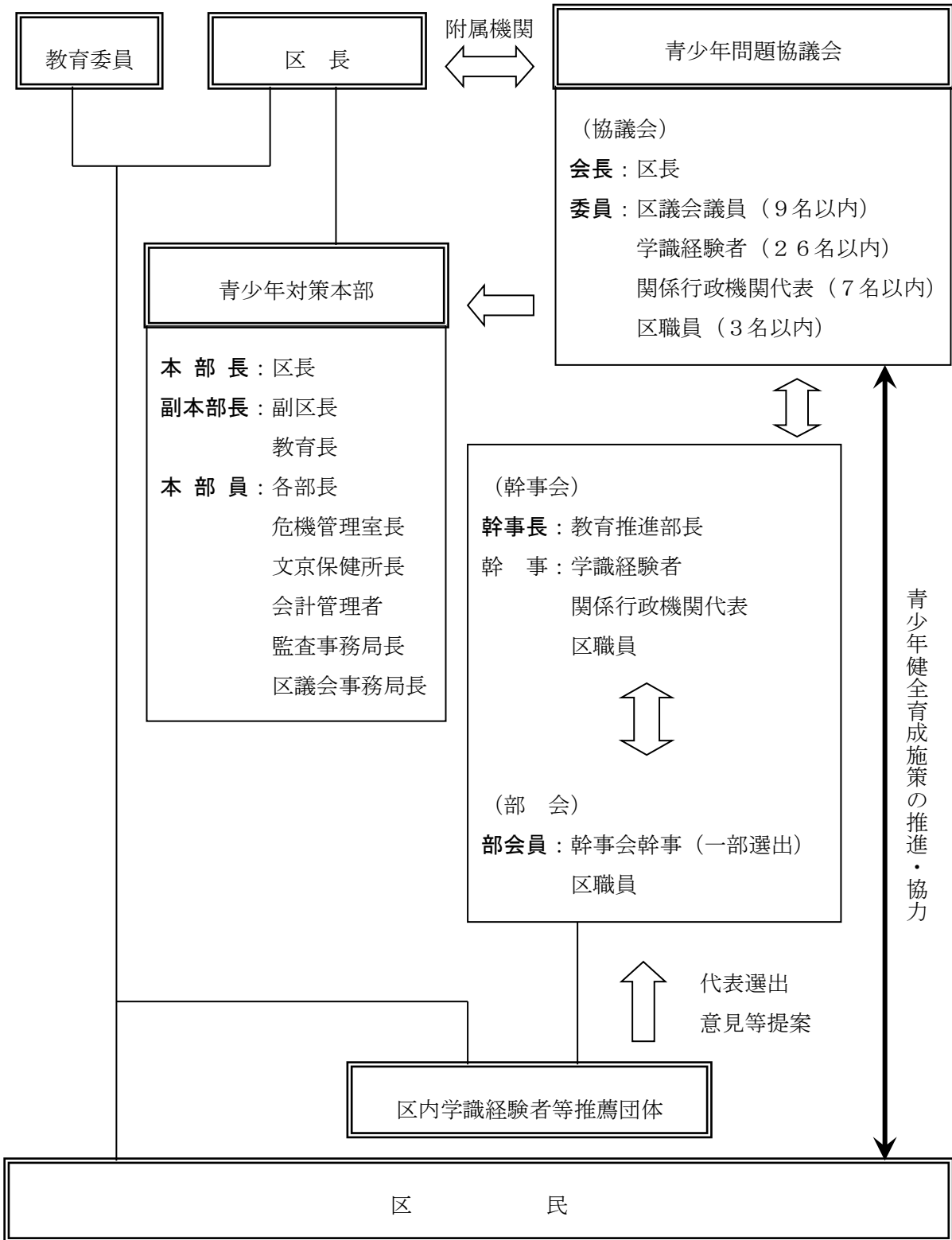
〔学識経験者（25名）選出団体〕

保護司会 ※	青少年健全育成会（9地区）※
民生委員・児童委員協議会 ※	町会連合会
東京商工会議所文京支部	青少年委員 ※
スポーツ推進委員	女性団体連絡会
防犯協会	更生保護女性会
教育委員会	区立小学校PTA連合会 ※
区立中学校PTA連合会 ※	東京青年会議所文京区委員会
区内都立高等学校※	区内私立高等学校※

民生委員・児童委員協議会は、主任児童委員を含め2名の委員を選出しています。

※の団体は幹事会に委員を選出しています。

# 青少年対策関係組織図



### 3 議 事

◆令和5年2月22日（水） 文京区青少年問題協議会幹事会

**【議題】**

- ①文京区青少年健全育成会事業について
- ②文京区青少年プラザの運営について
- ③子ども110番事業について
- ④環境浄化推進事業について
- ⑤インターネットのルールとマナー冊子について
- ⑥青少年健全育成プランの改訂時期について

◆令和5年3月3日（金） 文京区青少年問題協議会

**【議題】**

- ①文京区青少年健全育成会事業について
- ②文京区青少年プラザの運営について
- ③子ども110番事業について
- ④環境浄化推進事業について
- ⑤インターネットのルールとマナー冊子について
- ⑥青少年健全育成プランの改訂時期について
- ⑦各団体・機関からの情報提供について



## 4 あいさつ・声かけ運動

文京区青少年問題協議会が策定した「はじめの一步！（文京区青少年育成プラン）」では、「あいさつ・声かけ」を重点行動に掲げ、地域の大人と子どもたちとの気軽なコミュニケーションのきっかけづくりとして「あいさつ・声かけ」の推進を呼びかけています。

### (1) クリアファイルの作製・配布

区内小学校新1年生に配布しました。

クリアファイル



### (2) リストバンドの貸出

学校行事や地域のイベントなどでの「あいさつ・声かけ運動」の目印としてリストバンドを貸し出しています。

リストバンド



## 5 ITメディアに関する情報提供用リーフレットの配布

ITメディアに関する情報提供用リーフレットを配布しました。

配布先：区立・国立・都立・私立小学4、6年生

(左) 児童用

『インターネットのルールとマナー  
インターネットを使い始めた  
みんなに知ってほしいこと！』



(右) 保護者用

『インターネットのルールとマナー  
ネット社会に生きる子どもを守るために』



## ▶文京区青少年健全育成会活動

### 1 概 要

#### 【文京区青少年健全育成会とは】

青少年が健やかに成長するための活動を行っている自主的な団体です。

地域の青少年の健全育成を担う団体の中心となって、学校や家庭だけでは経験することが難しい社会体験の機会の提供や、地域事業への青少年の参画、家族のふれあいを促進する事業などを行っています。

#### 【沿革】

昭和37年、青少年の健全育成活動、青少年をめぐる社会環境の浄化、働く青少年の指導育成、家庭及び両親教育の振興などを活動目的として、「文京区青少年対策地区委員会」が、9つの旧出張所単位で誕生しました。

平成27年4月からは、「文京区青少年健全育成会」へと名称を変更し、よりわかりやすく時代に即した活動を行っています。

社会情勢の変化とともに青少年問題は複雑化していますが、文京区青少年健全育成会は自主的な団体として、地域における青少年健全育成の中心的役割を担っており、区としてもその活動の重要性を鑑み、各種の活動支援を行っています。

#### 【組織】

9つの健全育成会は、それぞれ独立した規約や会計に基づき活動していますが、各健全育成会の会長で構成する「会長会」、会長・副会長等で構成する「九地区連絡会」を年2回程度開催し、連絡調整を図っています。

また、9つの健全育成会が合同で行う九地区合同行事及び機関誌『やんぐ』の発行については、各健全育成会から選出された委員により、「九地区合同行事実行委員会」、「やんぐ広報委員会」を組織し、事業の企画・運営を行っています。

### 2 各健全育成会の活動内容

令和4年度はコロナ禍ではありましたが、各健全育成会は、オンラインでの開催や規模を縮小するなど事業内容を工夫し、また十分な感染症対策を行ったうえでイベントを開催しました。

※次ページより掲載

## 礪川青少年健全育成会

### 【活動理念】

- 1 地域での各世代間のつながりを体感
- 2 行事や交流の中で自立と社会性を育む
- 3 子どもたちを中心に地域各団体の連携

会長 中島 正一 会員数 127 人 地区人口 30,258 人 青少年人口 6,242 人

### 【実施イベント】

イベント名	実施日	場所	参加人数
サマーファミリーフェスティバル	7月23日(土)	第三中学校	1,084人
楽しい!サンバ de リズム&ステップ	10月2日(日)	茗台中学校	31人
第46回礪川マラソン大会	11月27日(日)	礪川地区内	403人
ストラックアウトフェスティバル	3月5日(日)	柳町小学校	390人

## 大原青少年健全育成会

### 【活動理念】

- あいさつ      ○ 青少年リーダー      ○ まち創り

会長 長谷川 陽一 会員数 83 人 地区人口 33,252 人 青少年人口 7,233 人

### 【実施イベント】

イベント名	実施日	場所	参加人数
大原地区合同ラジオ体操会	7月31日(日)	駕籠町小学校	350人
大原盆踊り大会	8月27日(土)	林町小学校	550人
ハロウィン 2022 スタンプラリー	10月30日(日)	大原地区西南 エリア	650人

※会員数は令和5年度総会時 人口は令和5年4月1日現在 青少年人口は3歳~25歳

## 大塚青少年健全育成会

### 【活動理念】

- 1 家庭と社会をつなぐパイプを構築し、青少年と家族との「心と体」のふれあいを増進する。  
そして「勉強」「運動」「様々な体験」の意義を再認識させる。
- 2 青少年の豊かな感受性と表現の育成を図る。
- 3 青少年を見守る社会の連携を強化し、青少年を育む環境づくりを促す。
- 4 「文の京」の地域文化を次世代へ伝承する。

会長 伊藤 博之 会員数 119 人 地区人口 42,834 人 青少年人口 9,646 人

### 【実施イベント】

イベント名	実施日	場所	参加人数
カブラで遊ぼう	9月24日(土)	スポーツセンター	287人
落語ワークショップ	10月23日(日)	大塚小学校	52人
ボッチャ対抗戦	1月29日(日)	窪町小学校	48人
中学生文化祭	3月26日(日)	第一中学校	343人

## 音羽青少年健全育成会

### 【活動理念】

子どもも大人もドキドキワクワクする楽しい活動

- 社会貢献を学ぶ機会    ○チャレンジ体験    ○遊びを通じて学ぶグループワーク  
○地域社会全体の連携    ○地域ぐるみの子育てネットワークづくり    ○やりがいのあるボランティア

会長 松崎 勲 会員数 75 人 地区人口 22,452 人 青少年人口 5,002 人

### 【実施イベント】

イベント名	実施日	場所	参加人数
ドキドキ体験 2022 きもだめし	8月27日(土)	関口台町小学校	406人
森林公園バスハイク	12月4日(日)	森林公園	106人
わくわく冬体験 星空観測会	1月28日(土)	小日向台町小学校	45人
フォトスポットを作ろう (小・中学校卒業記念)	3月20日(月)	音羽中学校	104人
	3月24日(金)	小日向台・関口台・青柳小学校	244人
地域ふれあいコンサート	3月25日(土)	音羽中学校	353人

※会員数は令和5年度総会時 人口は令和5年4月1日現在 青少年人口は3歳~25歳

## 湯島青少年健全育成会

### 【活動理念】

- 1 大人の自己満足ではなく、「子どもの目線」で
- 2 子どもを集めるのではなく自然に集まる「魅力ある企画」を
- 3 地域との「つながり」を大切に

会長 菊池 清 会員数 88 人 地区人口 30,520 人 青少年人口 5,982 人

### 【実施イベント】

イベント名	実施日	場所	参加人数
親子でチャレンジ「親子防災教室」	6月26日(日)	本郷小学校	51人
野外活動「文京冒険塾」	8月20日(土)～ 22日(月)	八ヶ岳学園	30人
地域こどもプラザ「おいでよ!あそびの パラダイス」	10月30日(日)	湯島小学校	840人
美と生活「クリスマスリース作り体験」	12月4日(日)	本郷小学校	20人
スキー&スノボ「SSS40」	1月14日～15日(土・日)	湯の丸高原 スキー場	36人
青少年リーダー育成事業「本郷台で思い 出作り」など9回	3月12日(日)	本郷台中学 校など	延84人

## 向丘青少年健全育成会

### 【活動理念】

地域のみんなで手をつなぎ明るく元気な青少年の育つ環境作りと楽しい事業を通して助け合いの心を大切にする地域づくりを進めます。

会長 西脇 繁和 会員数 59 人 地区人口 16,129 人 青少年人口 4,065 人

### 【実施イベント】

イベント名	実施日	場所	参加人数
子ども体験教室「ペンシルバルーン」	6月19日(日)	第六中学校	26人
映画会	9月23日(金祝)	向丘地域活動 センター	14人
バスハイク	10月2日(日)	こもれび森の イバランド	30人
ケーキ作り	12月11日(日)	第六中学校	40人
子ども体験教室「望遠鏡づくり」	2月25日(土)	第六中学校	28人

※会員数は令和5年度総会時 人口は令和5年4月1日現在 青少年人口は3歳～25歳

## 根津青少年健全育成会

### 【活動理念】

- 1 地域のつながりを自覚させる
- 2 自然とのふれ合いを大切にさせる
- 3 地域文化を伝える

会長 徳世 浩二 会員数 65 人 地区人口 8,534 人 青少年人口 1,556 人

### 【実施イベント】

イベント名	実施日	場所	参加人数
ファミリーレクリエーション (バス)	6月25日 (土)	スカイツリー	17人
どじょうつかみ大会	7月17日 (日)	根津小学校	359人
プール開放	8月6・7日 (土・日)	第八中学校	93人
根津・千駄木下町まつり	10月15・16日 (土・日)	根津神社等	
親子もちつき大会	12月11日 (日)	根津小学校	387人
バス旅行	2月5日 (日)	つくばエキスポセンター	30人
ふれあい館まつり	2月18・19日 (土・日)	根津ふれあい館	

## 汐見青少年健全育成会

### 【活動理念】

- 青少年の社会参加・参画の促進
- 環境浄化活動の推進
- 青少年の心身の健康づくり

会長 相澤 夏紀 会員数 77 人 地区人口 17,587 人 青少年人口 3,613 人

### 【実施イベント】

イベント名	実施日	場所	参加人数
にこにこ映画祭 (鷗外記念)	5月22日 (日)	文林中学校	21人
プール開放	8月6・7日 (土・日)	第八中学校	93人
根津・千駄木下町まつり	10月15・16日 (土・日)	根津神社等	
スキー行事	1月28~29日 (土・日)	信州湯の丸スキー場	29人
千駄木フェスティバル	2月12日 (日)	第八中学校	228人

※会員数は令和5年度総会時 人口は令和5年4月1日現在 青少年人口は3歳~25歳

# 駒込青少年健全育成会

## 【活動理念】

地域交流体験「つながり」

- 子どもと大人
- 子どもと子ども
- 大人と大人

会長 武智 弘英 会員数 61 人 地区人口 28,535 人 青少年人口 6,398 人

## 【実施イベント】

イベント名	実施日	場所	参加人数
ワンデイハイキング (バスレク)	6月5日(日)	横須賀・ソレイユの丘	82人
プール開放	7月18日(月祝)	第九中学校	139人
納涼会	8月5・6日(金・土)	富士神社	577人
秋は社会科見学(バス)	9月25日(日)	首都圏外郭放水路等	44人
ハロウィンウォークラリー	10月22～30日 (土～日)	駒込地域	532人
クリスマス「オーナメント教室」	12月17日(土)	第九中学校	22人
スポーツ体験会・ポッチャ	2月12日(日)	第九中学校	26人
音楽会	3月19日(日)	駒込地域活動センター	171人

※会員数は令和5年度総会時 人口は令和5年4月1日現在 青少年人口は3歳～25歳

### 3 合同事業

#### (1) 文京区青少年健全育成会九地区合同行事「文の京こどもまつり」

九地区合同行事は、11月の文京区「家庭の日」(第2日曜日)に家族がふれあい、きずなを深めるための事業として、九地区合同行事実行委員会により企画・運営を行っています。

今年度は、青少年健全育成会が60周年を迎えたことにあたり、60周年記念事業として開催しました。3会場では地区ごとにブースを設置し、併せて「あいさつ・声がけ」スタンプラリーを実施。アリーナでは、60周年記念式典の開催のほか、子どもたちのダンス・合唱等の発表を行いました。

当日は天候にも恵まれ、多くの親子等にご来場いただきました。

【日 時】 令和4年11月13日(日) 午前10時～午後3時

【主 催】 文京区青少年健全育成会九地区合同行事実行委員会

【スタッフ数】 352名(内、青年ボランティア45名)

【来 場 者】 4,475名

【内 容】

・青少年健全育成会(9地区)各地区のイベント

① ストラックアウト(礪川地区)

窪町小学校

② 復活!レジ袋ロケット(大原地区)

第一中学校

③ コロコロコロナスナイパー(大塚地区)

窪町小学校

④ 60周年だよ!じゃんけんぼん(音羽地区)

教育の森公園広場

⑤ ゆしまトライアスロンチャレンジ(湯島地区)

教育の森公園広場

⑥ ドキドキあみだくじ(向丘地区)

第一中学校

⑦ 栄光への一本道(根津地区)

教育の森公園広場

⑧ ミニディスクゴルフ・ニアピンコンテスト(汐見地区)

教育の森公園広場

⑨ フィッシング(駒込地区)

スポーツセンターアリーナ

・「あいさつ・声がけ」スタンプラリー

各会場

・60周年スペシャルステージ

スポーツセンターアリーナ

・10年後の自分へフォトメッセージを送ろう

スポーツセンター内

・折鶴モザイクアートを作ろう

各会場

・外部団体のイベント

① かんたん工作(児童館イベント)

スポーツセンターアリーナ

② 地域安全教室(危機管理課)

教育の森公園広場

③ パスカルとあそぼう(東京ケーブルネットワーク)

スポーツセンターアリーナ

【当日の様子】



★コロコロスナイパー



★栄光への一本道





★復活！レジ袋ロケット



★60周年だよ！じゃんけんぽん



★ミニディスクゴルフ・ニアピンコンテスト



★コロコロコロナスナイパー



★ドキドキあみだくじ



★フィッシング



★ゆしまトライアスロン



★スペシャルステージ

## (2) 機関誌『やんぐ』

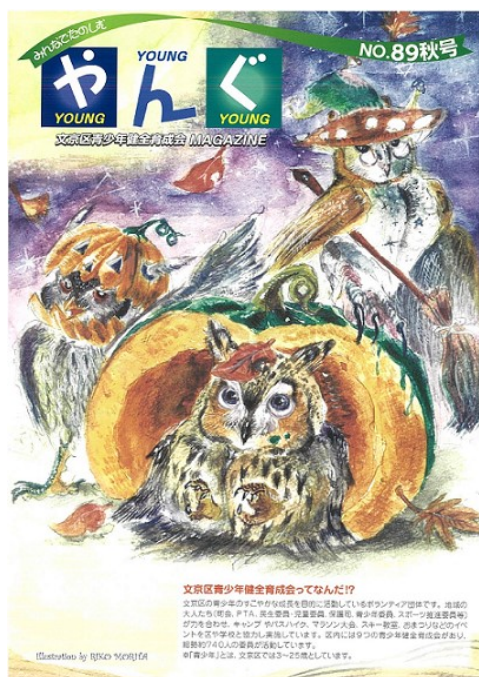
『やんぐ』は、文京区青少年健全育成会の機関誌として、昭和52年に創刊されました。イベントに参加した子どもたちや保護者の方の感想、企画・運営に携わった委員のコメント、健全育成会事業の報告や活動写真などを掲載しています。より多くの区民の方に青少年健全育成会の活動をご理解いただき、行事等に参加・協力していただくために発行しています。

○ 編集：広報委員18名（各地区2名）

○ 発行：年2回

発行号	発行日	形態
第89号（秋号）	9月1日	A4版／4ページ／フルカラー
第90号（春号）	3月31日	A4版／12ページ／フルカラー

第89号



第90号



## 4 委員研修会

○日時：令和4年12月15日（木）午後7時～午後8時30分

○場所：文京シビックセンター シルバーホール

○参加者：青少年健全育成会委員 29名

○内容：ヤングケアラーについて

○講師：文京区福祉部福祉政策課福祉保健政策推進担当

主査 石川 久美子 氏

## ▶文京区青少年プラザ（愛称 b-1 a b）

### 1 設置目的

b-1 a bは、中高生の自主性・社会性の成長を応援することを目的に、文京区教育センターとの複合施設として開設した、区内初の中高生向け施設です。

“中高生の秘密基地”をコンセプトとし、リビングのようなスペースや、勉強、バンド活動、ダンス・バスケットボールなどのスポーツや料理ができるスペースがあり、文化・スポーツ、学習支援などのイベントを実施するほか、中高生がイベントの企画やb-1 a bの運営に関わる挑戦のステージがあります。

「b-1ab」とは文京区青少年プラザの愛称であり、Bunkyo laboratory(研究室・実験室)の略称。公募により、区内の高校生が名付けました。

### 2 設置概要

#### (1) 住 所

文京区湯島四丁目7番10号（教育センター）

#### (2) 開館時間

午前9時～午後9時（中学生の利用は午後8時まで）

#### (3) 休 館 日

12月29日～1月3日、保守点検日（年1回程度）

#### (4) 利用対象者

区内在住・在学の中学生及び高校生（在勤の中高生世代を含む）

※ホール及び音楽スタジオは、区内在住・在学・在勤の一般の方（大人）も利用可能な時間帯あり（有料）。

#### (5) 施 設

##### ①中高生談話スペース【1階】

おしゃべりしたり、のんびりしたり、勉強など何でもできる自由なリビングのようなスペースです。

##### ②多目的スペース【1階】

料理や工作ができるスペースです。必要に応じて仕切って使えます。

##### ③ホール【1階】（貸出施設）

ダンスや演劇などの練習・発表ができるスペースです。



④音楽スタジオA・B【1階】(貸出施設)

大・小の音楽スタジオです。完全防音で、バンドに必要な楽器・機材を揃えています。



⑤プレイヤード【2階】

ハーフサイズのバスケットコートを設置。色々なスポーツができる屋外のスペースです。



⑥研修室【2階】(教育センター共用)

静かに集中して勉強ができる自習スペースです。

⑦軽運動室【3階】(教育センター共用)

卓球等の運動ができる屋内のスペースです。

## (6) 使用料 (一般)

[ホール]

使用料		
①9:00~12:30	②13:00~16:30	③17:00~20:30
2,500円	2,500円	

[音楽スタジオ]

施設名	使用料			
	①9:00~12:00	②12:30~15:30	③16:00~18:00	④18:30~20:30
音楽スタジオA	1,200円	1,200円		
音楽スタジオB	400円	400円		

※このほか、附帯設備(楽器等)の使用料あり。

※中高生の施設使用料及び附帯設備使用料は無料。

※土・日・休日、長期休業期間の全区分及び平日③以降の区分は中高生のみ利用可。

## 3 利用実績

### (1) 運營業務委託事業者

認定特定非営利活動法人カタリバ

### (2) 利用実績

#### ①新規登録者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
162	241	116	168	163	102	135	141	123	75	114	97	1,637

#### ②来館者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
1,541	1,720	1,610	2,295	2,595	1,796	2,042	1,940	2,318	1,745	1,913	2,939	24,454

## 4 事業概要

### (1) 中高生スタッフ

イベント等に主体的に関わる利用者を「中高生スタッフ」と位置付け、各種事業や運営に参画しています。  
また、活動期間は各学期に合わせて設定しています。

今年度の活動	人数
24期(4～8月)	9
25期(9～12月)	12
26期(1～3月)	14

### (2) 実施事業

#### ① 主な講座・イベント

##### ア 自習応援！マナビ場（定期講座）

中高生の自習の場を作り、皆が勉強に向き合う空間を提供しています。

##### イ アソビ場（定期講座）

様々な実験活動や表現活動を通じて、中高生の探究心を養います。

##### ウ サスティナ部

座学だけでなく、五感を使って SDGs を学べる様々な機会を提供しています。東京ドームホテル、(株)キリンビバレッジ、やきとんゆかちゃんと連携したイベントも実施しました。

#### ② フェス事業

年3回(夏・冬・春)、主にライブやダンス発表等を開催。令和4年度より新たに発足した「b-1lab サークル」の活躍の場としても位置付けています。

	開催日	内容
夏フェス	8月21日(日)	各サークルによる展示・企画や、バンドやダンスの発表等を行いました。
冬フェス	12月28日(水)	各種展示・企画・発表等に加え、中高生が自分の「好き」をキーワードに1年間の活動を振り返る「b-1lab プロフェッショナル」を行いました。
春フェス	3月30日(木) ・31日(金)	初日にシビック小ホールにてバンドやダンスの発表、2日目にb-1lab 館内にて企画及び卒業式イベントを行いました。

#### ③ 地域連携事業

##### ア 青少年健全育成会との連携実績

- (ア) 7月17日(日) 根津青少年健全育成会「どじょうつかみ大会」の運営補助
- (イ) 10月30日(日) 湯島青少年健全育成会「地域こどもプラザ」のステージ・ブース参加
- (ウ) 3月5日(日) 礪川青少年健全育成会「ストラックアウトフェスティバル」の運営補助
- (エ) 機関紙「やんぐ」第90号の表紙デザイン

##### イ 文京ワカモノ未来 PROJECT

中高生が初めての「ヒト・モノ・コト」に出会い、探求学習のきっかけを生み出すことをテーマに、区内の様々な場所でワークショップを実施しています。今年度は、放課後 NPO アフタースクール・真砂中央図書館・ルーラルコーヒー・シビックセンター・b-1lab の5会場にて開催し、ワークショップを通じて中高生の「やってみたい」を支援しました。

#### ウ コミュニティプラザ（青少年委員会事業）

3年ぶりにコミュニティプラザがシビックホール小ホールにて開催され、b-1abからはダンスサークル・ウクレレ部・工芸ダンスサークルのメンバーが出演。また司会や照明スタッフにも挑戦するなど、中高生の多方面での活躍が見られました。

### （3）広報活動

#### ①WEB サイト（<http://b-1ab.tokyo/>）

施設概要や講座情報、中高生スタッフにより更新されるブログ等を掲載しています。

#### ②Twitter（@blab\_tokyo）

館内の様子や講座やフェスの実況を発信しています。

#### ③LINE@

友だち登録した利用者に対して、直近の講座情報を発信しています。

#### ④Instagram（blab\_tokyo）

写真を中心に、イベントの様子や日常の様子を発信しています。

#### ⑤YouTube（「文京区青少年プラザ b-1ab」）

スタッフ紹介やイベント情報を動画で発信しています。

#### ⑥広報誌「Bunkyo teens magazine Cha!Cha!Cha!」

施設紹介のほか、区内の中高生の活動を紹介しています。広報誌の企画・作成には中高生スタッフが携わり、区内の中学校・高等学校・中等教育学校生徒や青少年関係団体等に配布しました。

#### ⑦b-1ab たより（生徒向け）

館内の様子のほか、講座情報をカレンダー形式で告知。区内中学校、高等学校、中等教育学校に配布しています。

#### ⑧b-1ab 通信（教員向け）

施設の取り組みや、中高生スタッフの活動の様子や声を掲載。区内中学校、高等学校、中等教育学校に配布しています。



↑ 広報誌「Cha!Cha!Cha!」19号（令和5年3月発行）

## 5 出張 b-1ab

施設の利用促進と生徒の進路意識の向上を目的に、区立中学校への出張授業「出張 b-1ab」を実施。b-1ab の紹介や、キャリア学習授業「先輩と語る座談会！カタリ場」を行っています。

学校名	対象学年	生徒数	実施日	満足度（平均）
第六中学校	3年生	94名	4月9日（土）	86.0
文林中学校	2年生	20名	7月15日（金）	90.0

今年度は、感染防止の観点から1クラスをいくつかのグループに分けて「先輩の話」を実施しました。少人数での談話や個人ワークシートを通して、生徒が自分自身と向き合う時間を提供し、進路選択の一步を踏み出すきっかけを生み出しました。

# 文京区版ひきこもり総合対策

## 文京区ひきこもり支援センター

ひきこもりに関するご本人、ご家族等からの総合相談を行います。複合的な課題に対応していくために、支援関係機関と連携し、解決に向けての支援を一緒に考えていきます。

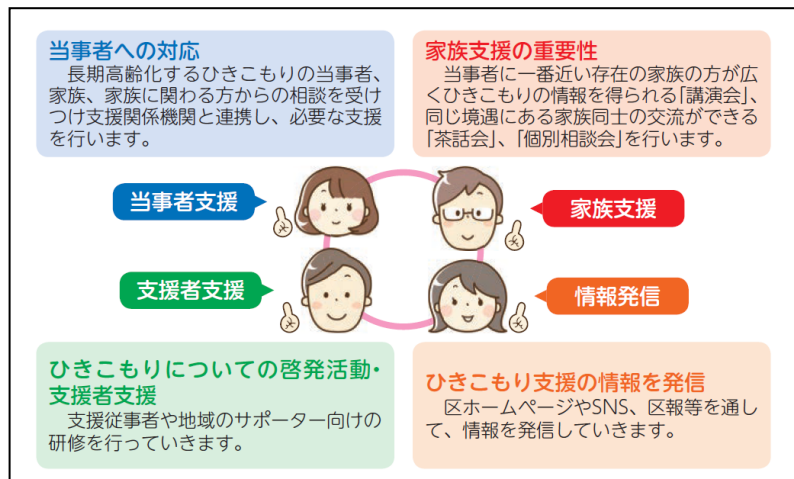
場所：文京区役所 9階  
生活福祉課自立支援担当

TEL 03-5803-1917

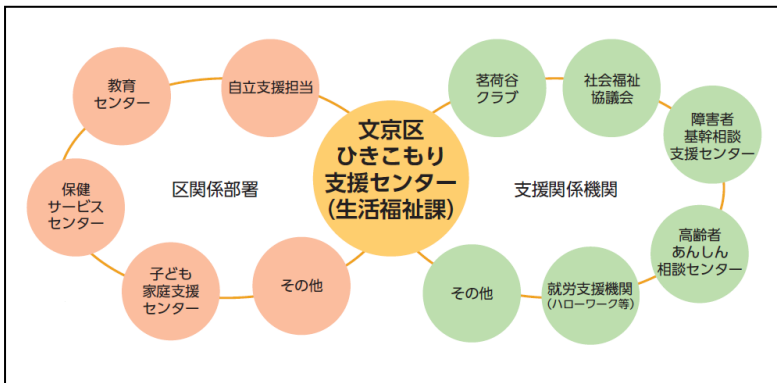
相談受付：平日 9時から 17時まで

相談形態：電話相談、来所相談

内容によって訪問相談



### ■ 文京区ひきこもり支援ネットワーク



支援関係機関と連携をしながら、「断らない」「ひきこもり当事者の小さな変化に気付きつながら続ける」相談を行っていきます。また、ひきこもり等自立支援会議を行い、区内ひきこもり支援に関する検討を行っていきます。

## STEP (ひきこもり等自立支援事業)

長期にわたって、就学・就労等の社会参加ができず、家族以外の人間関係がない状態(以下、「ひきこもり」という。)にある区内在住の義務教育終了後の方とその家族等を支援するため、「STEP」(Support 支援/Talk 相談/Experience 経験/Place 居場所)を実施しています。

### ■ 事業内容

#### (1) ひきこもり相談

臨床心理士等が、電話、来所、訪問、メールにより相談、カウンセリング等を行います。

## (2) 講演会・個別相談会

ひきこもり当事者への望ましいアプローチ方法等を理解するための講演会を年3回実施しました。令和5年度についても、年3回実施予定です。

	日時	講演会講師	参加者数
第1回	令和4年6月18日(土) 午前10時～正午 (個別相談会：午後1時～午後2時30分)	深谷 守貞 氏 (KHJ 全国ひきこもり家族 連合会ソーシャルワ ーカー)	講演会：50名 個別相談会：4組
第2回	令和4年10月15日(土) 午前10時～正午 (個別相談会：午後1時～午後2時30分)	斎藤 環 氏 (筑波大学教授、医学 博士)	講演会：90名 個別相談会：7組
第3回	令和5年2月18日(土) 午前10時～正午 (個別相談会：午後1時～午後2時30分)	板東 充彦 氏 (跡見 学園女子大学心理学 部准教授) 倉光 洋平 氏 (公益 社団法人青少年健康 センター茗荷谷クラ ブ) ひきこもり経験者	講演会：60名 個別相談会：7組

個別相談会：臨床心理士、ファイナンシャルプランナーによる個別相談

## (3) 茶話会

同じ境遇にある家族同士の情報交換やひきこもり当事者へのアプローチ等の習得を目的とした茶話会を年6回実施しました。令和5年度についても、年6回実施予定です。

	開催月	テーマ	参加者数
第1回	5月	「ひきこもりのリカバリー(回復)のプロセス」	16名
第2回	7月	「最初の一步集 様々な人はどのように家を出るようになったか」	12名
第3回	9月	「ひきこもる子との日常会話」	9名
第4回	11月	「見えづらい変化・SOSをどう見つけるか」	8名
第5回	1月	「中間的就労の現在 ひきこもる本人が元気になるステップ」	4名
第6回	3月	本人の体験談	4名

## (4) ステップUPプログラム(社会参加に向けての段階的なプログラムを実施)

- ・コミュニケーション編：コミュニケーション力向上のためのトレーニングを行うプログラム
- ・社会参加準備編：就労するための知識や自分の適性を学び、実践するプログラム
- ・社会貢献編：ボランティア活動を通じて、社会参加を経験するプログラム
- ・ジョブコーチ：支援者が職場に同行し、就労に向けた支援を行うプログラム



#### (5) フリースペース

学校や職場へ行くことに困難を感じている方の自宅以外の居場所支援です。利用者同士やスタッフとの関わりを通じて対人関係の改善を図ります。

#### (6) 定着化サポート

臨床心理士との面談や、利用者同士の交流会を通じて、就職・就学・復学後の不安や悩みを解消する支援です。

#### (7) 運營業務委託業者 公益社団法人青少年健康センター茗荷谷クラブ

# 健全育成活動・非行防止活動

## 1 文京区社会を明るくする運動

### (1) 運動の趣旨

毎年7月は「社会を明るくする運動強調月間」並びに「青少年の非行・被害防止全国強調月間」にあたります。

#### ① 社会を明るくする運動

法務省が主唱する「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築こうとする全国的な運動です。

文京区においても、「社会を明るくする運動」の趣旨をより一層周知するために、行政、関係機関、関係団体、地域住民が連携して、積極的に取り組んでおり、毎年多くの区民、関係者の参加と協力を得て、月間を通じて様々な活動を実施しています。

#### ② 青少年の非行・被害防止全国強調月間

内閣府が主唱する「青少年の非行・被害防止全国強調月間」は、青少年の非行、被害の防止のための取組を広く集中的に実施することを目的として定められています。関係機関、関係団体、地域住民等の協力を得て、国民の非行防止意識の高揚、青少年の非行等問題行動への対応の強化を図ります。

社会を明るくする運動と併せて実施することで、より広範に認知されることを目指しています。

#### ③ 運動の期間

例年7月に実施している東京ドーム周辺広報啓発活動は、熱中症の危険により中止し、11月に文京シビックセンター周辺で実施しました。

#### ④ 主 催

文京区社会を明るくする運動推進委員会

[構成団体] (順不同)

文京区

文京区保護司会

文京区更生保護女性会

文京区青少年健全育成会 (9地区)

文京区立小学校長会

文京区立中学校長会

文京区立小学校PTA連合会

文京区立中学校PTA連合会

文京区町会連合会

文京区民生委員・児童委員協議会

文京区社会福祉協議会

文京区内警察署少年補導員連絡会 (4地区)

防犯協会 (4地区)

文京区青少年委員会

文京区商店街連合会

東京青年会議所文京区委員会

## (2) 活動内容

### ① 運動全体にかかる広報啓発活動

- ・区報ぶんきょう 6月25日号及び区ホームページでの広報
- ・ポスター・チラシによる広報・啓発活動

### ② 文京区社会を明るくする大会

- 日 時：令和4年7月10日（日）午後1時30分～午後3時30分
- 場 所：文京区民センター
- 内 容

#### プログラム

- 司 会：文京区立小学校PTA連合会 長谷川 博康
- 1 開会あいさつ：文京区保護司会会長 亀田 一良
- 2 主催者あいさつ：文京区長 成澤 廣修
- 3 来賓あいさつ：文京区議会議長 田中 としかね
- 4 青少年の意見発表  
文京区立第一中学校 蒲生 琢磨  
文京区立第三中学校 春島 穂花  
文京区立第六中学校 赤間 清毅  
総評 文京区教育長 加藤 裕一
- 5 講演 「学習支援と居場所の必要性」  
講師：認定特定非営利活動法人 キッズドア 松見 幸太郎
- 6 閉会あいさつ：文京区青少年健全育成会九地区連絡会会長 中島 正一

- ポスター・チラシデザイン：都立工芸高等学校 渡邊 鈴乃
- プログラムデザイン：都立工芸高等学校 福島 葉夏

※東京都立工芸高校には、社会を明るくする運動東京都推進委員会委員長（東京都知事）より感謝状が贈呈されました。

- 参加者：81人

（構成団体55人 来賓・関係者25人 一般1人）



【中学生の意見発表】 (※顔写真非掲載希望)

## 僕の友達

文京区立第一中学校 <sup>がもう</sup> 蒲生 <sup>たくま</sup> 琢磨

「僕ね、財布をゲーセンでなくしたの。翌日に気付いて、ゲーセンに電話したんだ。」

財布をなくす、それもゲームセンターで。自転車の鍵を公園で無くすのとはレベルが違うと思った。その財布にはお札も入っていたのだろうか。ゲームセンターに行くぐらいだから千円札が何枚か入っていても不思議ではない。ゲームセンターで財布を拾ったら、ゲームに使ってしまう人がいそうな気がした。運よく良い人に拾われても警察に届けるだろうか。ゲームを楽しんでいる人がわざわざ自分の時間を割いてまで交番を探して、届けるだろうか。僕なら面倒くさい。手っ取り早くお店の人に預けること位ならするかもしれない。しかし、受け取った店の人が大切に保管しておいてくれるだろうか。こっそり自分のものにしても、証拠はないし、わからないと思う。財布が戻ってきて欲しいけれど、難しい気がした。「それで、財布は見つかったの？」友達の答えは「あった！財布。」僕はびっくりして、「え！」と言ったまま、開いた口が塞がらなかった。開いた口が塞がらない。と言う言葉を初めて使った。こういう時に使うと、みょうにしっくりくる。友達は、驚いた僕の顔を見て、ニコニコしながら話を続けた。「僕もね、びっくりしたんだけどね、ちゃんと戻ってきたんだよ。ゲーセンにいる人はね、オタクで優しい人が多いんだよね。」知らなかった。小学生の頃から長期休みの前に「子供同士で繁華街、ゲームセンター等に行ってはいけません。」と刷り込まれているから、きっとそこには、悪い人が沢山いるものと思い込んできた。もちろん、多少いるかもしれないから、警告があるわけで、大人は子供を守るために注意喚起してくれている。けれども、怖い人ばかりでなく、むしろ親切な人もいることがわかった。僕の偏見だった。自分が恥ずかしくなった。

友達は僕と同じ中二だ。小四ぶりに会った友達は中学校に通わずに、フリースクールに通っている。「中学校の制服は一度も着たことがないんだ。」僕の胸はチクリと痛んだ。僕の学校にも一度も登校していない子がいる。ずっと気になっているけど、何もできていない。

友達は僕のことを「毎日、学校に通っていて、凄い！」と言う。はっきり言って僕も自分のことを凄いと思っている。毎日、学校に行き、週五で部活をして、塾にも行って、生徒会もやって、水泳だって続けている。この前、スイミングで念願のタイムをクリアして、大勢の人に褒めてもらい頑張った良かったと思ったし、結

果を出せた時は、こんなに清々しいのかと感動もした。しんどい時もあるけれど、楽しいと思えることの方がずっと多いし、当たり前と思っている。中学生が学校に毎日通うのは当たり前だし、普通だと思っていた。しかし、これも偏見だと気づいた。

けれども、そう言う友達こそ凄いと思う。同じ十三歳なのに、自分の夢がある。将来、更に進んだ少子高齢社会、労働人口激減の中でも、友達の作るシステムによって今よりも豊かな社会になっているかもしれない。難しく理解できなかったが、友達には作りたい未来が見えているようだった。友達の友だちは、中二だけじゃなくて、中三、大学生、ニート、ヤングケアラー、サラリーマン、企業家もいるらしい。「年齢が違うけどね、僕らには上下がなくて、横一線の友だちなんだ。一人の人として同等に話ができるの。」そんなことができる友達を心から尊敬する。おそらく彼らの中には偏見はない。僕の知らない世界と繋がりを持ち、視野を広げ自分の糧にしている友達こそ凄い人だと思う。僕より大人っぽく見える友達はきっと精神的にも大人に近くて、大変なことも乗り越えようとしたり、乗り越えたりで強くなっているようだった。友達の目は真っ直ぐに僕を見て、眩しいぐらいにキラキラと輝いていた。今の生活が充実していることを物語っていた。僕も嬉しくなった。友達と僕は違う道を歩いているけれどそれぞれ充実した十三歳を生きている。

『社会を明るくする運動』について考えた時、僕は友達との関係を思い出した。僕たちは特別なことはしていないけど、お互いを認め合っている。ただそれだけで、僕たちの道は明るく照らされている気がした。この先、辛いことがあっても、きっと踏ん張れる。信じてくれる人がいる限り、裏切るような行為を犯すようなことはない。無意識でしてしまう偏見をなくすことも大切だ。いわゆる「多様性を認め合う」と言うことだろう。多様性を認め合う社会こそが、社会を明るくする運動の第一歩になると僕は考える。

もし、財布を拾ったら、持ち主に返るように届けようと思う。持ち主はきっと「良い社会だ。」と感じてくれるに違いないと思う。

## 【中学生の意見発表】

# 七十八億人の笑顔

文京区立第三中学校 はるしま 春島 ほのか 穂花

「人種差別」私は、この言葉を聞いただけで鳥肌が立ちました。みんな同じ人間で同じ血が流れているというのに差別が起きている。肌の色が違うだけで、好きになる性別が同じなだけで、ひどい言葉をかけられないといけない。私には納得ができませんでした。そして、今でも差別を受け、辛い思いをしている人がいると考えると胸が痛みます。



世界では、肌の色による差別が現在も起きています。そのようなニュースを私も見たことがあります。ジョージア州で起きた事件を皆さんは知っていますか？ジョギング中の黒人男性が白人男性三人に射殺されてしまう事件。私は、ネットの記事で初めて知りました。見た時は衝撃と苦しさに気持ちが溢れました。なぜこのような事件が起きてしまうのか。私には理解ができません。日本では、人種差別の事件が少ないです。ですが、海外では、毎日差別的な行動をされ、苦しんでいる人が多くいます。私は、一人ずつでも少なくなることを願います。

私の友達は以前、道に迷っていた黒人の男性を助けてました。見た目だけで判断せず、困っているから助けるという思いやり溢れる行動をとった友達を尊敬したいです。私もそれが当たり前のように行動できる人になりたいし、友達のような人が世界中に増えてほしいと思いました。

みなさんは「十人十色」という言葉を知っていますか？

私はこの言葉がとても好きです。なぜなら「人はそれぞれ違うけど、みんな違ってみんないい」という考え方が今の世の中に必要な考え方だと思ったからです。肌の色が違うだけで、性自認が他人と違うだけでいじめの標的になってしまう今の世の中。自殺に追い込まれて、命を絶ってしまうことだってあります。さらには、親に反対をされて虐待をされてしまうこともあります。「自分の本当の気持ちを他人に話すことが怖い」「自分も同じことをされるのが怖い」という考えをしてしまっているままの自分を隠してしまう人達が沢山いると思います。自分自身でそれを乗り越えられる人もいますが、ごくわずかな少人数だと考えられます。

私は、前述した肌の色の違いだけでなく、性自認が他人と違うことも決して悪いことではないと思います。けれど、一部の人達は差別をしたり偏見で他人を見たりする人もいると思います。もし、そのようなことを思っても口に出さないでほしいです。人それぞれの個性は違います。他人の個性を、変だと感じててもその個性に口を出す必要はないと考えたからです。

現在の世の中、性別や肌の色で差別をされ辛い思いをしている人々が、世間に何億万人もいると思います。心のない暴言や暴力をする人達が一人ずつでも少なくなればと思います。そして、世界中の誰もがありのままの自分を隠さず生きていけるようになれば良いと思いました。私は、七十八億人全員が笑顔になれる日をずっと待っています。

## 【中学生の意見発表】

### 見つめ直すとき

文京区立第六中学校 あかま 赤間 きよき 清毅

「大人から離れたら危ないよ。すぐに親のところに戻りなさい。」

小学2年生の時の話になる。両親と訪れた携帯電話ショップで、僕と4歳下の弟はたまたま居合わせた知らない女性に厳しい口調で怒られた。

場所は日本ではない。父の海外赴任で渡航した中国・北京でのことだ。

両親が現地の携帯電話の契約手続きをしている間、飽きてしまった僕と弟は親から離れて携帯電話ショップの出入り口の近くで遊んでいた。

日本にいた時もスーパーなどで親から離れることは少なくなかったのですが、僕はこの時、「何で怒られたのだろう」と気分が悪かった。しかし、後で怒られた理由が分かった。

かつて中国では子供を誘拐して、人手不足の農村などにひそかに売る犯罪が相次いでいたという。

今では中国の治安はかなり良くなったが、それでも子供だけで外に遊びに行ったり、買い物に行ったりすることはできない。

携帯電話ショップで出会った女性は僕たちのことを心配して注意してくれたのだ。

「安全」に対する考え方は日本と、中国など海外とではだいぶ違う。

北京で僕は日本人学校に通っていたが、登下校は住んでいるマンションの敷地内から、学校の敷地内まで毎日、スクールバスで移動していた。

マンションや学校の出入り口には警備員がいて、部外者は入ってこれない。敷地の外に出ずに通学できる仕組みだ。

学校のすぐ隣のマンションに住んでいる人もいたが、中等部に通う中学生を含め登下校時は常に親がつきそっていた。それが中国での常識となっていた。

でも、誤解しないでほしい。こうした現実があるからといって、中国は決して危ない国ではない。

むしろ中国の人たちは子供にはとても親切だ。父に理由を聞くと、子供を一人しか持てない「一人っ子政策」の影響もあるようだ。

実際、両親とともに電車に乗ると毎回、「ここに座って。」と大人が席を譲ってく





れる。レストランに行くとジュースやデザートをサービスしてくれることも多かった。

北京で過ごした4年弱、僕たち兄弟が中国で怖い体験をすることは一度もなかった。今も当時の日々は僕の中で楽しい思い出となっている。

僕がいま通っている中学校にも、中国をはじめ海外にルーツを持つ同級生がたくさんいる。いつもみんなで力を合わせ、励ましあいながら学校生活を送る大切な仲間だ。

しかし、インターネットを見ると、中国や中国の人たちを批判したり、見下したりする声があふれている。

それを目にするたび、僕は悲しい気持ちになってしまう。北京で大勢の人に助けられ、いまも優しい仲間たちと毎日を過ごしているためだ。

なぜ一方的に相手にレッテルを貼り、汚い表現でけなすことができるのか。

その原因は無知だからだと思う。相手のことや、周囲の事情や背景をよく知ろうとしないからだ。

北京の携帯電話ショップで僕たちのことを思って注意してくれた女性の親切な行為を、不快に思ってしまった、あの日の知識が浅かった僕と同じだ。

一方的にレッテルを貼りあい、ぎくしゃくすることは日本でもたくさんある。

若い人たちとお年寄り、昔から住んでいる人と新しく引っ越してきた人、都会と田舎、男性と女性。

全てとは言えないけれど、ニュースやインターネットなどでよく見るいざこざの背景には、互いに知ろうとしないまま一方的に相手にレッテルを貼っていることがあると思う。

社会を明るくするためには、まずは相手のことを知ることから始めてみるのが何より大切だ。

何か不快に思うことがあったら、「何か原因があるのだろうか」と探してみてもいい。

そうすれば、互いの間にある誤解が解消できるかもしれない。対立ではなく、手を取り合える方法を見つけられるかもしれない。

こうしたことを積み重ねていけば、一方的に相手にレッテルを貼ったり、汚い言葉で相手をけなしたりすることは、きっとなくなっていくはずだ。

そして、これはそんなに難しいことではないと思う。

だって僕はいま、海外にルーツを持つ同級生たちと毎日、仲良く遊んでいるから。

出身なんて気にしたこともない。僕は彼らがどういう人なのか知っているから。

知ることから始めてみよう。

## 講演「学習支援と居場所の必要性」

講師：認定特定非営利活動法人キッズドア

松見 幸太郎

生活困窮世帯の子ども向けの学習支援を中心に様々な活動をされている NPO(認定特定非営利活動) 法人キッズドアの松見幸太郎様に「学習支援と居場所の必要性」というテーマで、日本の子どもの貧困や学習支援の効果、学習支援の必要性について講演をいただきました。参加者からは、文京区の多くの子ども達に聞いてほしい内容だったとの感想をいただきました。



### <社会を明るくする大会 アンケート抜粋>

- ・中学生が自分の体験に基づいた意見を発表し、大人の私たちも考えなければならないことに気付かされました。中学生の素晴らしさを表現できる機会がさらにあればよいと思いました。
- ・中学生 3 人発表はとても新鮮でした。教育の大切さ、貧困の深くな状況、よくわかりました。コロナ禍の中での開催に向けての関係団体の皆様のご努力に感謝いたします。
- ・中学生の発表が素晴らしかったです。改めて考えさせられました。又、松見様の講演についても、ためになるお話が聞けました。本当にありがとうございました。
- ・普段の生活で深く考える機会の少ないお話を伺うことができました。見えない貧困に対し、意識を向けることの大切さを感じます。貧困だけでなく、差別、偏見についても改めて自らをふりかえり、帰宅後、家族とも話題にしてみようと思います。貴重な機会をありがとうございました。

### ③ 文京シビックセンター周辺広報啓発活動

- 日 時：令和4年11月9日（水）12時30分～13時30分
- 場 所：文京シビックセンター礪川公園側玄関付近、春日町交差点
- 内 容

文京区保護司会・文京区更生保護女性会を中心に、文京シビックセンター周辺で、啓発用ティッシュなどを配布しながら、多くの方に運動の趣旨を呼びかけました。

- 参加者：56人（構成団体50人 他6人）

文京シビックセンター礪川公園側玄関付近



春日町交差点



## 2 環境浄化推進活動

### (1) 子ども110番

#### 【事業の目的と概要】

「子ども110番」は、子どもたちが身の危険を感じた時に、一時的に避難できる場所（個人・商店・民間事業所等）を確保し、子どもの安全を地域ぐるみで守ることを目的としています。

具体的には、「子ども110番」ステッカーを掲示するとともに、万が一の際に避難してきた子どもを保護し、関係機関に連絡をするものです。

#### 【協力者の把握】

令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、ステッカーの掲示場所や協力者数を把握するための訪問調査ができませんが、令和4年度は、区立小学校PTA連合会の協力のもと、訪問調査を行いました。また、新たに協力いただける商店・事業所への依頼も行いました。個人協力者については、郵送で確認を行いました。

#### 【名簿の作成と見舞金保障制度】

PTAの調査に基づき、協力者名簿を作成し、国・区立小学校並びにPTA・区内警察署で共有しています。併せて、協力者に対する見舞金制度を導入しています。

#### 【感謝状】

子ども110番事業で長期間協力員として尽力いただいた事業所・店舗・一般協力者退任者へ感謝状を送付しました。

感謝状送付数：104件

#### 【「子ども110番」の周知と拡充】

区内の小学1年生に、避難場所の印として認識してもらうため、直径5cmのミニ110番ステッカーを配付し、学用品などに貼ってもらっています。

#### 【調査実績】

協力者数：1,474件（令和5年3月31日現在）



## (2) 不健全図書類販売状況調査

### ①趣 旨

現在、青少年を取り巻く環境は、青少年の健全な育成を阻害する恐れのある有害情報が氾濫するなど、決して良好なものとはいえない状況にあります。このような状況を受け、東京都では「東京都青少年の健全な育成に関する条例」（以下、「都条例」という。）に基づく不健全図書類の区分陳列化の推進や、青少年に対する販売規制などを行っています。

また、区市町村からの推薦に基づき、東京都から委嘱を受けた「東京都青少年健全育成協力員」（以下、「協力員」という。）が、年3回程度、指定図書・表示図書等の不健全図書の販売状況を調査しています。

さらに文京区では、書籍・ビデオ等取扱店・コンビニエンスストアやメディア関連団体等に対し、自主規制の要請文を送付し、青少年の健全育成を推進するため、より良い地域環境づくりに取り組んでいます。

### ②不健全図書類の種別について

#### A 不健全図書類の種類

※「図書類」＝書籍、雑誌、ビデオテープ、DVD、CD-ROM、テレビゲームソフト等

〈a〉指定図書類＝都が不健全図書類として指定した図書類（都条例第8条、第9条）

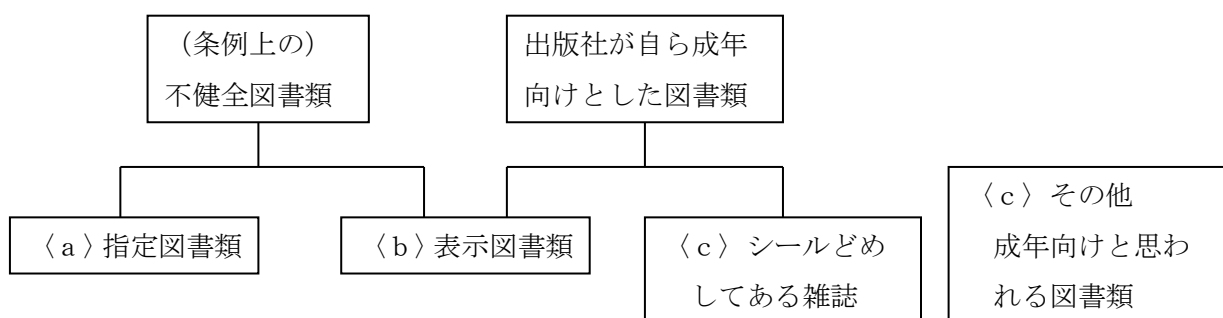
〈b〉表示図書類＝出版社等が、青少年が閲覧し、又は観覧することが適当でない旨の表示をした図書類（条例第9条の2）

〈c〉成年向けと思われる図書類＝※条例での定めはない。

指定図書類又は表示図書類以外で、

ア シールどめ雑誌の場合・・・出版社が自主規制で雑誌の小口部分をシールどめし、  
青少年が容易に閲覧できない措置がされたもの

イ その他の場合・・・成年向けと思われる図書類等、特に青少年に見せたくない図書類



## B 指定図書類、表示図書類についての出荷方法、販売方法の制限

### ○出版社の義務、自主的措置

	表示図書類	指定図書類
表示の努力義務	青少年が閲覧し、又は観覧することが 適当でないと考えた図書類には、表示 するように努めなければならない。	都が不健全指定図書類として指定 するのは、店頭等で販売、貸付けさ れてからなので、出版社等には関係 規定は適用されない。
包装の努力義務	包装するよう努めなければならない。 (ビニール包装若しくはひも十字掛け)	

### ※出版社が自主的に行うシールどめ

表示図書以外で、出版社が青少年に相応しくないと考えた雑誌について、条例によらない自主的な措置として、小口部分を2ヶ所シールでとめた雑誌がある。

### ○販売店等の義務

	指定図書類 (※罰則付きの義務)	表示図書類 (※努力義務)
販売等の禁止	青少年に販売等してはならない。	青少年に販売等しないように努めなければならない。
閲覧の禁止	何人も青少年に閲覧させてはならない。	何人も青少年に閲覧させないように努めなければならない。
区分陳列義務	一般の図書類と区分して陳列しなければ ならない。	一般の図書類と区分して陳列する ように努めなければならない。
包装の義務	包装して陳列しなければならない。	(出版社等の努力義務)
制限掲示	「青少年は購入、閲覧できない」旨の掲 示をしなければならない。	左記の掲示をするよう努めなけれ ばならない。

※「成年向けと思われる図書類」は、条例上、指定図書類、表示図書類と異なり直接的な規定はないが、事業者の一般的な努力義務として、青少年の健全な成長を阻害するおそれがあるときは、青少年に販売等しないように努めなければならないと規定している。

### 3 文京区「家庭の日」啓発

文京区では、平成3年8月より、毎月第2日曜日を文京区「家庭の日」と定め、家庭の意義を見直し、家族のふれあいやきずなを深めるため、各種啓発事業を展開しています。

#### 【広報啓発活動】

文京区「家庭の日」をより多くの区民の方に周知し理解していただくため、また、家族がふれあえるきっかけづくりとなるよう植物の種の入った啓発品を作製し、区立小学校全児童に配布しました。

植物を育てる時間や、成長の喜びを家族で共有し、家族のきずなを深めてもらうことを目指しています。



植物の種の入った啓発品

#### 【九地区合同行事】

文京区青少年健全育成会九地区合同行事「文の京こどもまつり」は、11月の家庭の日にあわせて開催されました。

※事業内容は「文京区青少年健全育成会活動の記録」11ページより掲載。

## 4 文京区青少年の社会参加推進事業補助金

区内で非営利活動を行う団体（NPO等）が実施する、青少年の社会参加を推進する事業や、青年育成事業に要する事業の経費の一部を補助することにより、青少年の自立の促進や、地域社会において自主的に活動できる青年の育成を図ります。

本年度は別表の2実施団体に対して補助を行いました。

令和4年度 文京区青少年の社会参加推進事業補助金交付事業・・・下記別表のとおり

実施団体	申請事業
文京区南会津町交流雪遊び実行委員会	文京区南会津町交流雪遊び
文京区青少年委員会	1. チャレンジウォーク 2. サマーチャレンジスクール 3. 令和4年度 リーダーチャレンジ育成会会議※実施なし



## ▶青少年対策推進関係機関連絡会

### 1 趣 旨

学校・警察・教育委員会・区の関係者が、生活指導・非行防止・青少年施策等における様々な課題について情報・意見交換を行うことにより、各機関の緊密な連携と青少年対策の推進を図るものです。

※区立小中学校生活指導主任研修会と合同開催し、区立小中学校との連携を図っています。

### 2 構 成

国立・私立小学校生活指導担当教諭

国立・私立中学校生活指導担当教諭

都立中等教育学校生活指導担当教諭

国立・都立・私立高等学校生活指導担当教諭

巣鴨少年センター主査

区内警察署少年係長

教育委員会指導主事

児童青少年課長

### 3 議 事

◆令和4年5月10日（火）午後2時15分～

（全体会）

○区内警察署、巣鴨少年センターより情報提供

○児童青少年課長より事業説明

< 配付資料 >

・文京区青少年健全育成会活動について

・文京区青少年プラザ（b-lab）の運営について

（分科会）

○各警察署管轄区域の学校ごとにグループを分け、警察署や近隣学校との情報交換を行いました。

---

令和5年8月 発行

令和4年度

**文京区青少年健全育成活動の記録**

発行 文京区教育推進部児童青少年課

〒112-8555 文京区春日1-16-21

電 話 5803-1186 (ダイヤルイン)

F A X 5803-1368

Email [b702000@city.bunkyo.lg.jp](mailto:b702000@city.bunkyo.lg.jp)

---